

電子複写不可

1299

昭和二十一年二月

船舶工兵才主隊戰鬥詳報

防衛研修所戰史部



新華日報

新華日報
（馬文輝）

1301

戰
鬪
詳
報

昭和三年一月二十二日

船舶工兵第十六隊第三中隊

24208

2

一二二 南西空襲第三中隊戦闘詳報

船舶工兵第二十六聯隊第三中隊

一 戦闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

ノ敵ハ此島作戰援護ノタメ一月初旬以來有カナル機動部
 隊ヲ南支那海ニ游セシメ臺灣南西諸島南支那ヲ空
 襲シ後方基地ノ攻撃及ビ増援ノ遮断ヲ爲シアリ二十日十
 三時三〇分ニ得タル情報ハ二十一日一五時一五分敵機動部
 隊三郡臺北基點一四〇度三五〇分ニアリテ三四〇度方
 向ニ進ミアリ

之ハ我ハ奄美守備隊各島嶼間ノ局地輸送ニ任シアリ二十
 二ヨリ沖永良部與論島ヨリ徳之島ニ飛行場勞務
 者ヲ輸送スルハ各々二艇出發準備中

シ他ニ四艇大島古仁屋ニアリ(内ニ艇修理中)
 二十二日一〇〇五空襲警報發令一二五解除ス

ニ戰闘ニ影響ヲ及シタル氣象海象
 々々氣象

日出	〇七・一七	月出	一三・〇六
日入	一八・〇四	月入	〇一・二三
満潮	〇一・〇〇	干潮	〇七・一〇
	一三・三〇		二〇・三五

海象
 風速三米快晴海上平穩ニシテ航行ニ最適ナリ又敵機ノ行動容易ナリ

三彼我兵力

人兵力

彼

長良艇隊方面
 加藤艇隊方面
 グラマンカーネス艦載機 七機
 グラマン艦載機 四機

我

長良艇隊
 加藤艇隊
 大發ニ艇隊長以下 二七
 大發ニ艇隊長以下 二一

ニ裝備

彼

グラマン下六下
 カリネスSR二二一
 一三機 機関砲 四
 一三機 機関砲 二

我

長良艇隊

八九式旋回機関銃	一
九九式短小銃	一七
八九式旋回機関銃	一
九九式短小銃	二二

加藤艇隊

四各時期ニ於ケル戦鬪經過

ハ出發ヨリ敵機ノ攻撃ヲ受クル迄 (附圖第一第二)

(1) 長良艇隊 (東海岸井上川沖)

一、二、三。空襲警報解除セラルルヤ直ケニ沖永良部島ニ向ッ
 ベキ命令ヲ受ケ秘匿位置ヨリ出シ輸送資材ヲ積載同
 時出發ノ和泊丸ニ前後シテ一四〇〇頃山港出發井上川沖合
 ニテ一四四〇彼我不明七機高度千米徳之島上空ヲ旋
 回シアルヲ又一四五〇高度五六〇〇米龜津花徳上空ヲ
 飛來スルヲ認メ敵機ナル事ヲ認ム直ケニ井上川海岸ニ
 向ヒ方向ヲ變ズ

(四) 加藤艇隊 (西海岸西阿木名沖)

一三〇〇出發命令ニ依リ秘匿位置ヨリ出シ一三五五頃平土野
 港出發一四三三頃西阿木名西方海面ヨリ航行中北方飛行
 地附近ニ黒煙上ルヲ見敵ノ攻撃ト判断直ケニ陸岸ニ達若
 スベク方向ヲ變ズ

之戦鬪經過

(1) 長良艇隊 (附圖第三)

一五〇五島澤方向ヨリニ機飛來銃撃次イテ諸方向ヨリ計七機
 ノ銃撃ヲ受ク同行ノ和泊丸ハ反轉井上川砂濱ニ向フ敵機ハ大
 發ノ左方向ヨリ和泊丸ノ首尾線方向ニ銃撃ス基準艇施
 回機関銃及ビ小銃ヲ以テ應戦ス一五一〇ニ番艇ハ命中
 彈ノ破片ニ依リ船部山路常雄一等兵右前膊首貫銃
 創ヲ受ケ舟艇彈痕ヨリ浸水ス兩艇共ニ全速ヲ以テ海岸

珊瑚礁ニ達著ス和泊丸ハ敵艦ニヨリ發火炎上砂濱ニ連
著スルヤ敵機ハ北方ニ去ル
時一五二五ナリ

(ロ)加藤艇隊(附圖第四)

一五〇。距岸四〇。米敵機四上空ニ飛來習撃ヲ上下ニ振り
旋回爆彈一ヲ投テス煤彈ハ後方一百米ニ落下水煙ヲ上げ
次イテ基準艇ニ向ヒ陸ヲ面ヨリ急降下銃撃ヲ加フヤ艦
部積載ノ重油トニハ推シ命ヲ發火ノ聲ヲ聞ク海
トナル同時山崎松雄上等兵肩部ニ受傷ス艇隊長加
藤少尉ハ直々ニ艇員ノ離艇ヲ命ズ艇長長谷川一等
兵長ハ舵手港甲池田義一上等兵ト共ニ旋回機關銃ヲ
以テ應戦ス立石上等兵以下四名跳込ム二番艇ハ基準
艇ノ炎上ヲ見小銃ニテ應戦シツツ反響救助ニ赴キシモ
引續ク銃撃ノタメ船底彈痕ヨリノ授水甚シク艇又傾斜

スルニ至リタルヲ以テ取敢ヘズ達著ヲ決意シ全速陸岸
珊瑚礁ニ達著ス

敵機ハ二番艇及ビ漂流者ニ主トシテ銃撃ヲス
基準艇ハ艇隊長指揮ノ下池田一等兵旋回機銃長谷川
古川小銃ニ依リ應戦ス機銃彈ハ舟艇ノ前後ニ水煙ヲ上
ゲ其中ニ應戦スル狀況正ニ鬼神ヲ泣カシム
一五五〇不幸一彈加藤少尉ノ胸部ヲ同ニ二分古川一等兵
ノ頭部ヲ同ニ五分長谷川兵長ノ頭部ヲ貫通然烈タル戦死ヲ
遂グ舟艇又授水甚シク池田一等兵追風ヲ利シ水竿ヲ以
テ舟ヲ操ソツツ一五四。分頃達著ス次イデ池田ハ再三ノ銃撃
下ヲ侵シ機銃ヲ揚陸ス間モナク舟艇ハ艦ヨリ沈没ス之ヨリ
先渡辺上等兵福井一等兵ハ炎上沈没ニ頻セルヲ以テ相協
カシ重傷ノ山崎上等兵ヲ救護海トヲ約五〇米交互ニ
助ケツツ海岸ニ搬送陸上ニ收容ス

二番艇ハ達著後投彈セラルルモ命中セズ岩落ニ避難
ス漂着ノ基準艇ニモ更ニ銃撃ヲ加フニ番艇ハ積載ノ木
炭ニ引火セシモ直ニ之ヲ消火ス 一五五。敵機ハ南方
ニ脱去セリ

二番艇ハ達著前舵手小野一等兵 脚部ニ受傷セルモ
屈セズ操舵ス又 居村 中島 伊澤 破片創ラウク
彈痕數 四十二達ス

3. 戦闘後

(イ) 長良艇隊再度來襲ニ備ヘ艇員海岸洞屈ニ待避
負傷者ヲ救援ス

(ロ) 加藤艇隊

二番艇ニ在リシ連絡掛大野伍長ハ銃撃下間断ヲ創シ
西附木名村落ニ至リ電話ヲ以テ狀況ヲ報告ス
他ハ協力兵力ヲ集結 戦死傷者ノ收容ニ當ル

戦死者 長谷川兵長ノ外 加藤少尉 古川一等兵見當ラズ
ルヲ以テ部落民ノ應援ヲボメ捜索ス

加藤少尉二十三日 古川一等兵二十五日 南側海岸ニテ發
見收容セリ

五. 戦闘後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

一 彼
重熙ヲ航行場ニ向ケタルモノ如ク一六時以降敵影ヲ見ズ
二 我

櫓坐及ビ炎上舟艇ノ收容ニ任ジ又戦死者ノ死体ノ行方ノ
捜索ヲナス

六. 齟齬 過失 其ノ他参考トナスベキ事項
一 警戒ハ特ニ嚴重ニナシ速マカニ其ノ微候ヲ判断スル
コト

及ビ航行機ノ識別能力ノ向上ヲ要ス

炎上ハ概部積載ノ重油發火ニ起因ス依リテ中甲板ニ
 積ミ艦部ニハ「ドラム罐」「砂利」堪實ニ防護代用ニ
 スルヲ可トス
 4航行ハ晝夜間共ニ勉メテ接岸航路ヲトルヲ可トス
 上諸方ヨリ飛行機ニ對ヌル小銃ノ對空射撃手ハ
 方毎ニ區分射撃ヲセシムルヲ要ス
 然ラザレバ諸方ヨリ來ル飛行機ニ對シ照準セズ亂
 射スルニ墮ル

獨混六四旅司作命第一ノ號

奄美守備隊命令

一月二十日一〇〇〇
大和城

一 飛行場工事現場ハ勞務者ヲ沖永良部島及與論島ヨリ

淺間ニ輸送ス

二 船舶工兵第三中隊長ハ右輸送ニ協カスベシ

三 細部ハ相互協定スベシ

奄美守備隊長

高田利貞

松工二六三中作命公第三九號
 第三中隊命令

一月三十一日〇九〇〇
 山戦斗指揮所

一旅團ハ沖永良部島與輪島ヨリ發着者ヲ德之島ニ輸送ス
 二中隊ハ主力(別紙編成表)ヲ以テ二十日山港及三平エ野港出發前項輸送ニ任セント知
 三長良少尉ハ加藤艇隊ヲ併セ指揮シ舟艇四ヲ以テ第一項輸送ニ任スベシ
 舟艇ハ加藤艇隊及四六六ニ五六一七號艇トス
 四五號艇線一々分隊施田機因銃ヲ分隊ヲ行動間配屬ス
 五輸送ノ細部ハ長良少尉ニ指示スルノ外飛行場及三旅團高級主計ト協定スベシ
 其各艇ハ隊隊航行規定糧秣燃料三〇〇俵分ヲ携行スベシ
 又余ハ山戦斗指揮所ニ在リ

中隊長 原田大尉

戦闘詳報 第二號 附表一

一月二十二日 第三中隊死傷表

備考	合計	第三中隊			部		死	傷	生死不明
		道尾遺隊	平野分遺隊	本部	隊	分			
輕傷者平野分遺隊四	二	二	一	八	増枝	隊員			
	三	四	二	六	兵	隊員			
	三	四	四	七	増枝	隊員			
	一		一		兵	隊員			
		二	二		増枝	隊員			
					兵	隊員			
		六		一	増枝	隊員			
			五		兵	隊員			
					増枝	隊員			
					兵	隊員			

備考	合計	分遣隊	古仁屋	分遣隊	本部	部區			種類
						油	揮	燃	
						油	揮	燃	費
	200			120	120	油	揮	燃	費
	320			150	150	油	揮	燃	費
						油	揮	燃	費
	1320			4320		油	揮	燃	費
	1000			1600		油	揮	燃	費
						油	揮	燃	費
						油	揮	燃	費

戰闘詳報第三號 附表三
 昭和三年三月三十一日調
 燃料損失量、全部

備考	合計	分遣隊	古仁屋	分遣隊	本部	部區			種類
						油	揮	燃	
	194			72	62	油	揮	燃	費
	238			80	58	油	揮	燃	費
	4			4		油	揮	燃	費
	7			7		油	揮	燃	費
	7			7		油	揮	燃	費
	8			8		油	揮	燃	費
	8			8		油	揮	燃	費
	8			8		油	揮	燃	費
	1			1		油	揮	燃	費
	210			240		油	揮	燃	費
	19			19		油	揮	燃	費
	4			4		油	揮	燃	費
	1			1		油	揮	燃	費
	5			5		油	揮	燃	費
	5			5		油	揮	燃	費
	1			1		油	揮	燃	費
	1			100		油	揮	燃	費
	1			100		油	揮	燃	費
	2			2		油	揮	燃	費
	2			2		油	揮	燃	費
	0			0		油	揮	燃	費
	1			1		油	揮	燃	費

戰闘詳報第三號 附表三
 昭和三年三月三十一日調

第三中隊兵器消耗表昭和三年三月三十一日調

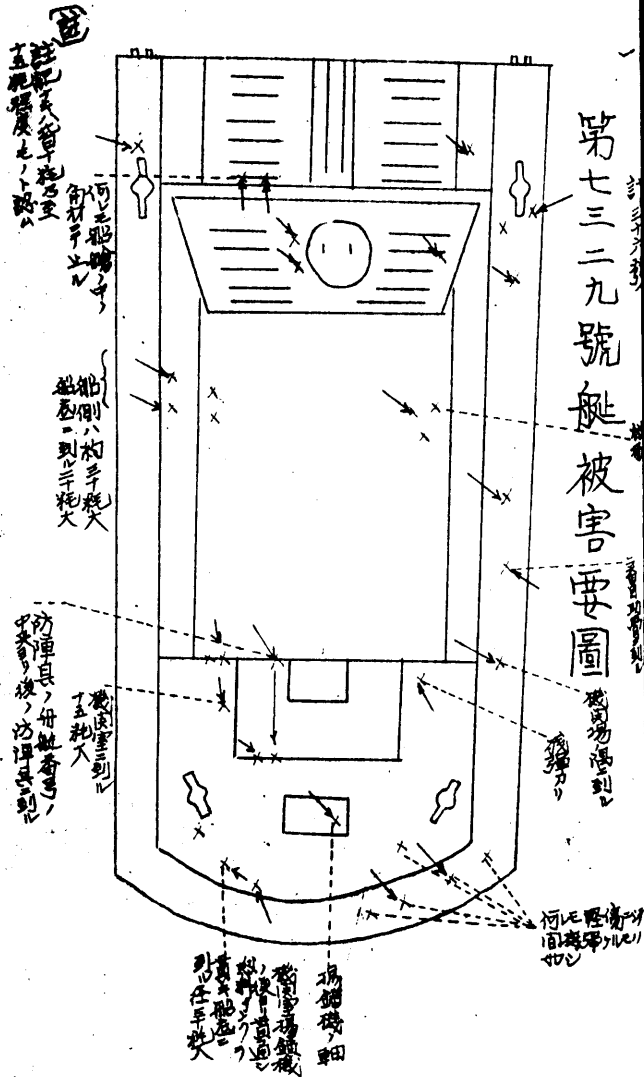
備考	合計	白屋分遣隊	至野分遣隊	本部		種類	備註
				隊	區分		
至野部 補給教員損失量全部	3		3		帽	略	破損 服失
	6		6		衣	夏	
	9		9		袴	夏	
	6		6		(防)衣	略	
	8		8		(防)袴	略	
	10		10		襪	襪	
	11		11		下	袴	
	8		8		套	外雨	
	1		1		巾	頭同	
	13		13		筒	水	
	14		14		襪	襪	
	9		9		絆	脚卷	
	12		12		靴	上編	
	4		4		紐	靴	
13		13		袋	足下地		
7		7		袋	負背		

戰國詳報第二號附表五
 白屋部第三隊被服損耗表昭和二年一月二十日調

備考	合計	白屋分遣隊	至野分遣隊	本部		種類	備註
				隊	區分		
至野部 三(一) 製衣動機大破莫上(多)					器	知候	費 失
					器	知候	
					器	知候	
					器	知候	
					器	知候	
					器	知候	
					器	知候	
					器	知候	
					器	知候	
					器	知候	
	10		10		甲	面毒防	
					具	毒防全	
					包	毒(消)	
					器	消	
					粉	晒	

戰國詳報第四號附表四

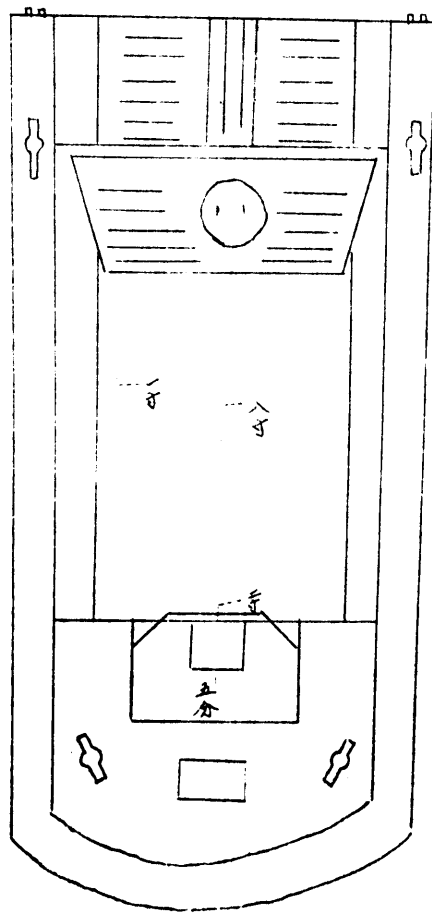
白屋部第三隊被服損耗表昭和二年一月二十日調



第七三二九號艇被害要圖

戰國詳報 第三號 附表六
一月三日第三中隊被服損耗表昭和二年五月廿日調

備考	合計	吉原分遣隊	平野分遣隊	本部	被服		種類
					損	失	
	13		13			天飯	
	12		12			合飯	
	11		11			帽鐵	
	10		10			甲被	
炎上焼却	38		38			巾毛	
被甲六丙	6		6			卷腹	
毀損三履水、多使用不加能	8		8			網袋	
	12		12			刺筒	
	5		5			栗識認	
	11		11			刀小	
	17		17			章襟	
	18		18			布襟	
	42		42			下靴	
	13		13			袋手	
	10		10			網命救	



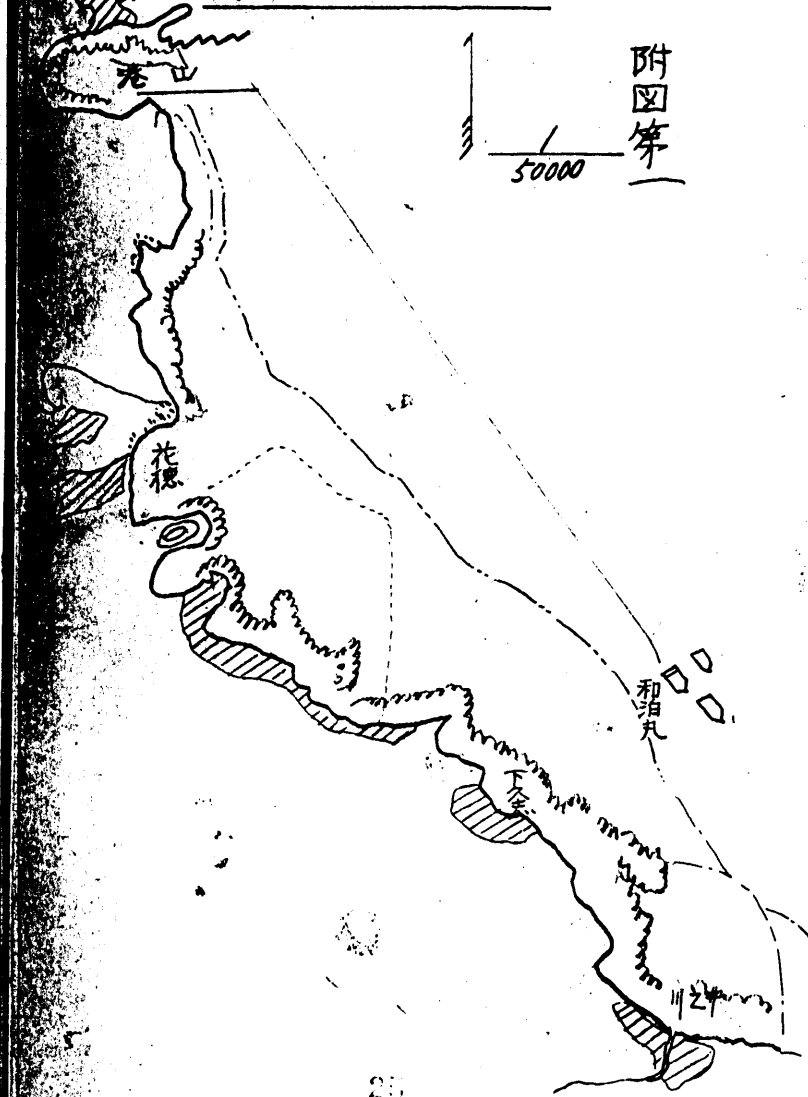
第六六二五艇被害要圖

戦闘詳報 第三編 附表八

三月三日第三中隊海圖損耗表 昭和二十年三月五日調

回 名	單位	數量	摘 要
奄美大島 徳島 — 與良部島 — 沖永良部島	部	一	大發射第六三艇次上大破、 際燒却ス

圖要勤行隊艇良長



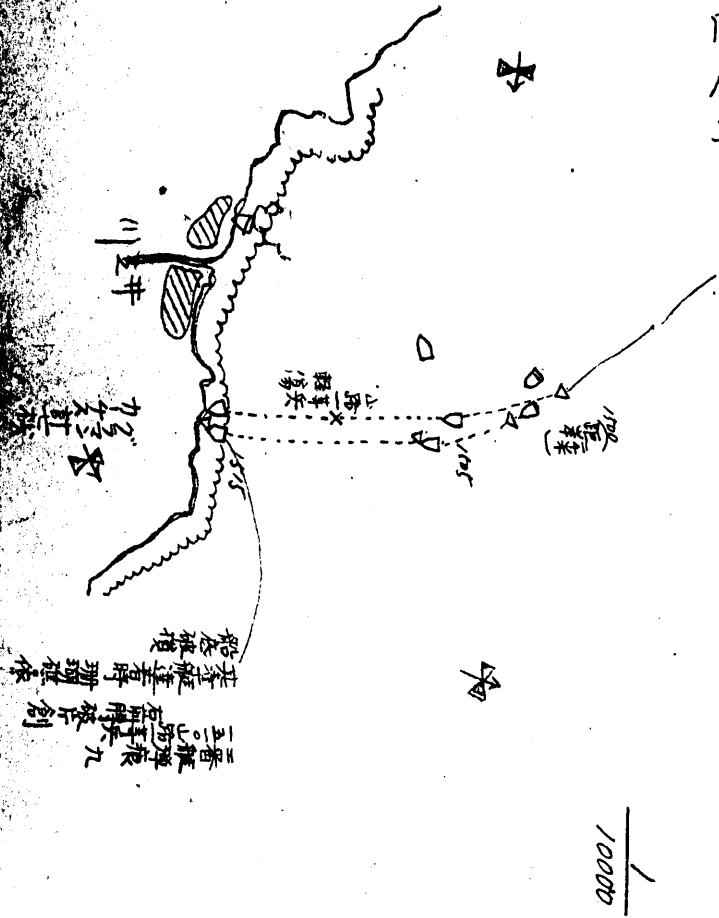
附圖第一

1328

合計	吉屋分遣隊	平土野分遣隊	本部	部區		種類
				隊分	區	
8		8		ト一ノリク		衛生材料
11		11		包帶繃		
8		8		液水淨		
9		9		包毒除		
60000		60000		米精		糧
60720		60720		シパ乾		
8000		8000		噌味粉		
8000		8000		油醬粉		
3000		3000		塩食		
21600		21600		料燕帶獲		

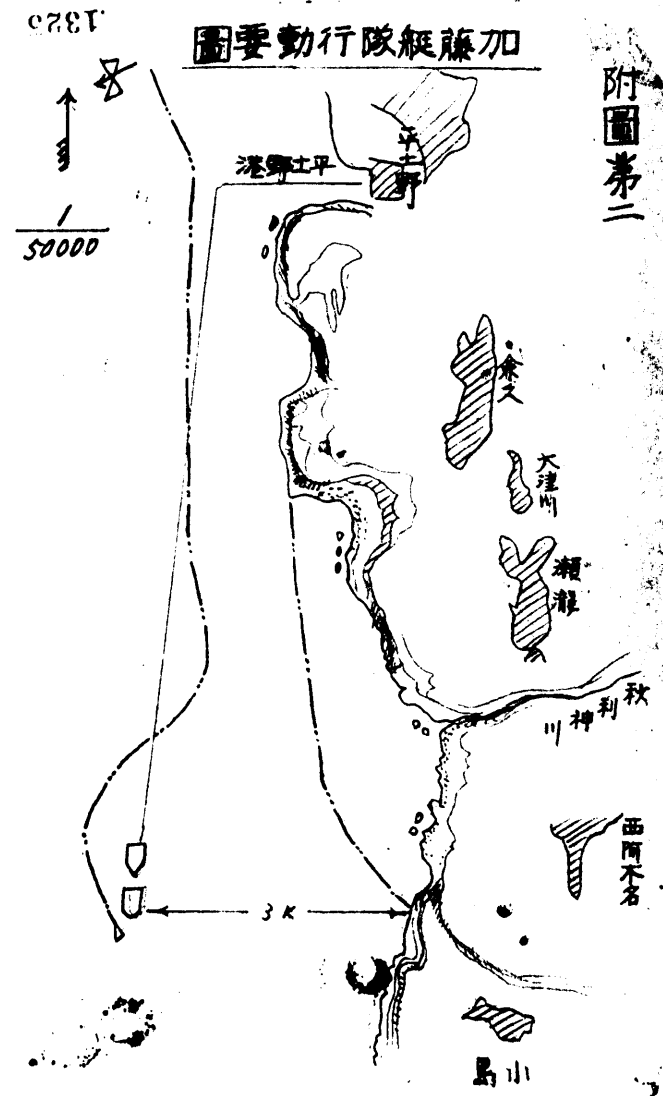
炭工總和補給數(福支量)全部

戰國詳報第二號附表七
百五百第百隊衛生材料並糧秣損耗表昭和三年五月三十日調



要圖第三

加藤艇隊行動要圖



附圖第二

附圖第四



1321

		船隊長 榎原	少尉 德丸	船隊長 榎原	少尉 德丸	船隊長 榎原	少尉 德丸
		傳令 榎原實	傳令 榎原實	傳令 榎原實	傳令 榎原實	傳令 榎原實	傳令 榎原實
		一等兵 田口 峯	一等兵 田口 峯	一等兵 田口 峯	一等兵 田口 峯	一等兵 田口 峯	一等兵 田口 峯
		二等兵 福西 俊齋 雄	二等兵 福西 俊齋 雄	二等兵 福西 俊齋 雄	二等兵 福西 俊齋 雄	二等兵 福西 俊齋 雄	二等兵 福西 俊齋 雄
		少尉 長谷川	少尉 長谷川	少尉 長谷川	少尉 長谷川	少尉 長谷川	少尉 長谷川
		一等兵 長谷川	一等兵 長谷川	一等兵 長谷川	一等兵 長谷川	一等兵 長谷川	一等兵 長谷川
		二等兵 長谷川	二等兵 長谷川	二等兵 長谷川	二等兵 長谷川	二等兵 長谷川	二等兵 長谷川
		三等兵 長谷川	三等兵 長谷川	三等兵 長谷川	三等兵 長谷川	三等兵 長谷川	三等兵 長谷川
		少尉 長谷川	少尉 長谷川	少尉 長谷川	少尉 長谷川	少尉 長谷川	少尉 長谷川
		一等兵 長谷川	一等兵 長谷川	一等兵 長谷川	一等兵 長谷川	一等兵 長谷川	一等兵 長谷川
		二等兵 長谷川	二等兵 長谷川	二等兵 長谷川	二等兵 長谷川	二等兵 長谷川	二等兵 長谷川
		三等兵 長谷川	三等兵 長谷川	三等兵 長谷川	三等兵 長谷川	三等兵 長谷川	三等兵 長谷川
		少尉 長谷川	少尉 長谷川	少尉 長谷川	少尉 長谷川	少尉 長谷川	少尉 長谷川
		一等兵 長谷川	一等兵 長谷川	一等兵 長谷川	一等兵 長谷川	一等兵 長谷川	一等兵 長谷川
		二等兵 長谷川	二等兵 長谷川	二等兵 長谷川	二等兵 長谷川	二等兵 長谷川	二等兵 長谷川
		三等兵 長谷川	三等兵 長谷川	三等兵 長谷川	三等兵 長谷川	三等兵 長谷川	三等兵 長谷川

1328

22

舟艇編成表

艇隊長	機関手	舵手	邊撃手	通信手	機関手	傳令	秘備員	
<small>(四五七)</small> 鍋谷清一 上等兵 少尉 鍋谷清一 伍長 德丸森雄 二等兵 川口操	上等兵 橋田清正 一等兵 山本博 二等兵 飯塚孝作 門旗 石川隆一	二等兵 曹長 一等兵 高杉雄 二等兵 高杉雄	長官 長内操 二等兵 佐藤義 長官 長内操 二等兵 阿部雄	通信手 通信手 機関手 機関手	艇隊長 船橋幸 通信手 通信手 機関手 機関手	傳令 機関手 傳令 秘備員 秘備員	田口彦 一等兵	
艇隊長	機関手	舵手	邊撃手	通信手	機関手	傳令		
<small>(五三)</small> 渡辺光男 上等兵 一等兵 佐野光男 二等兵 長谷川栄 長官 長谷川栄	二等兵 橋田寛 一等兵 山崎松男 二等兵 山崎松男	二等兵 池田行 一等兵 池田行	邊撃手 邊撃手 通信手 通信手	通信手 通信手 機関手 機関手	艇隊長 船橋幸 通信手 通信手 機関手 機関手	傳令 機関手 傳令 秘備員 秘備員		
艇隊長	機関手	舵手	邊撃手	通信手	機関手	傳令		
上等兵 伊藤慎夫 一等兵 水野録也 二等兵 水野録也	二等兵 伊藤慎夫 一等兵 水野録也 二等兵 水野録也	二等兵 伊藤慎夫 一等兵 水野録也 二等兵 水野録也	邊撃手 邊撃手 通信手 通信手	通信手 通信手 機関手 機関手	艇隊長 船橋幸 通信手 通信手 機関手 機関手	傳令 機関手 傳令 秘備員 秘備員		
艇隊長	機関手	舵手	邊撃手	通信手	機関手	傳令		
上等兵 伊藤慎夫 一等兵 水野録也 二等兵 水野録也	二等兵 伊藤慎夫 一等兵 水野録也 二等兵 水野録也	二等兵 伊藤慎夫 一等兵 水野録也 二等兵 水野録也	邊撃手 邊撃手 通信手 通信手	通信手 通信手 機関手 機関手	艇隊長 船橋幸 通信手 通信手 機関手 機関手	傳令 機関手 傳令 秘備員 秘備員		

武功拔群ナル者

戦死者

陸軍少尉

加藤 未造

右者責任觀念旺盛 常ニ黙々トシテ任務ヲ遂行ス
 特ニ二月二十日沖永良部島 輿論島ヨリノ輸送ヲ命ゼラレ
 ルマ敵機ノ攻撃ヲ受ル公算大ニ情況ニモ拘ラズ 敢然任務
 ニ服シ出發ス 間モナク敵機ノ攻撃ヲ受ルマ機宜ニ適スル處
 置ヲ講ジ 銃撃ニヨリ基幹艇炎上スルモ豪モ動ズルコトナラ
 艇員ノ退去ヲ命ジ悠々機関銃ヲ指揮ス 残員總テ
 艇隊長ノ叱ノ指揮振リニ奮起 炎上シツモ果敢ニ應戦ス
 敵機ノ銃撃益々熾烈ニ瞬飛ビ来ル敵彈ハ少尉ノ胸部ヲ貫
 通 艇上紅染メツ壯烈ニ戦死ヲ遂グ此ノ奮戦正ニ船船工
 兵ノ精進ニ寄ルモノナリ

其ノ武功蓋ニ顯著ナリ

昭和二十年一月二十二日

武功拔群ナル者

戦死者

陸軍兵長 長谷川榮一

右者終始熱心積極任務ニ邁進 艦長ノ本分ヲ全クセリ
特ニ一月二十二日ノ戦闘ニ於テハ基幹艦ヲ長トシテ参加 艦隊
長ノ命ヲ奉ジ 果敢ニ奮戦ス 艦隊長退去ヲ命ズル
モ機銃ヲ指揮シ應戦ス 敵機之ガタメ攻撃ヲ躊躇セルモ
寡兵ト見ルヤ再ビ攻撃シ来ル 猛烈ナル銃撃遂ニ頭部ヲ
貫通 壯烈歿上ヲ紅ニ染メツシ斃ル 正ニ舟艦墓場ノ精
神ヲ具現セルモノト云フ 船舶工兵ノ精華ナリ 其ノ武功顯
著ナルモノト認ム

昭和二十年一月二十二日

武功拔群ナル者

戦死者

陸軍一等兵

古川 晟

右者平素ヨリ黙々熱心積極的ニ服務シ其ノ本分ヲ完フセリ 特二月二十日ノ戦闘ニ於テハ基準艦機関手トシテ参加 舟艇火炎上スルヤ機関室ノ消火ニ任ジ火傷スルモ屈ス沈著ニ處置ス 退去ヲ命セラルルモ艀部ニ至リ小銃ヲ以テ應戰^{奮闘}ス敵ニ熾烈ナル攻勢ヲ加ヘタルモ遂ニ敵彈ニ斃ル 正ニ舟艇墓場ノ精神ヲ具現シタルモノト言フベク船舶工兵ノ精華ナリ 其ノ武功顯著ナルモノト認ム

昭和二十年一月二十日

武功拔群ナル者

生存者

陸軍伍長

大野 一郎

右者平素ヨリ熱心眞面目ニ服務シ艇長及ビ分隊長トシテ優秀ナリ 特二月二十日戦闘ニ於テ連絡掛トシテニ番艇ニ乘艇攻撃ヲ受クルヤニ番艇ヲ指揮シ果敢ニ應戰機宜ニ適スル處置ヲ講ジニ達著舟艇ヲ保全セリ而モ熾烈ナル銃撃下間断ヲ利用シ状況ヲ報告スベク悪路ヲ克服シ急報ス

其ノ行動勇猛果敢沈着豪膽連絡掛ノ任務ヲ完ウシタルモノニテ象ノ模範タリ

昭和二十年一月二十日

武功拔群ナル者

生存者

陸軍一等兵 池田義之

右者平素ヨリ黙々熱心ニ服務 舟艇操縦ニ當リテハ優ホカナリ
特ニ二月二十二日ノ戰鬪ニ於テハ敵彈下舟艇ヲ操縦 火上退去命令
下ルモ退去セズ 機銃射手トシテ奮戰 敵ニ痛撃ヲ與フ 艇隊長
艇長戰死セルモ豪モ動ズルコトナリ沈着ニ行動員傷者ヲ救護シ又追風
ヲ利ニ舟艇ヲ水竿ヲ以テ操リ達著セシム 且機銃ヲ陸岸ニ搬送保全ス
其ノ行動勇猛沈着如何ナル情況ニ於テモ自己ノ任務ヲ完ウスル熱心
ナル責任觀ハ衆ノ模範ニシテ船舶工兵ノ精華ナリ
其ノ武功顯著ナルモノト認ム

昭和二十年一月二十二日

1331

武功拔群ナル者

生存者

陸軍上等兵 渡邊光男
陸軍一等兵 福井 槍

右者平素ヨリ黙々任務ヲ遂行シ其ノ本分ヲ完ス
特ニ二月二十日戰鬪ニ於テハ炎上後モ沈着ニ行動シ山崎上等兵
重傷ヲ負フマ之ヲ救護シ火焰ノタメ身動キカナハヌ山崎ヲ助ケ
熾烈ナル銃撃下克ク協同シテ水中ヲ海岸ニ搬送全キヲ圖レリ
其ノ行動正ニ勇猛果敢戰友精神ヲ發揮セシモノトイフベク正ニ
衆ノ範タリ

昭和二十年一月二十二日

1332

武功拔群ナル者

生存者

陸軍一等兵

小野正義

右者平素ヨリ黙々實行 終始熱心眞面目ニ服務シ良好
ナリ 特ニ一月二十日ノ戰鬪ニ於テハニ番艇船手トシテ参加
熾烈ナル銃撃下沈著 艇長ノ指揮ニ從ヒ脚部ニ負傷
スルモ豪毛動ズル事ナリ 操縦シ其ノ任ヲ全フス
其ノ行動勇猛果敢沈著責任觀念旺盛ニシテ衆ノ
範タリ

昭和二十年一月二十日

